

2期生を迎える会

2022年9月5日 午前10時～



9月5日の入学式・新入生を迎える会に先立ち、「日本語」の授業は8月から「特別月間」として、新一年生も参加しました。この1ヵ月で、上級生となる2年生は「新入生を迎える会」の準備を進め、5日の「入学式」を迎えました。

新2年生となる上級生の大活躍の迎える会でした。

<新入生を迎える会>



中学校を卒業したばかりの初々しい新入生の88名の入場。エスコートは2年生です。

1ヵ月の登校経験があっても緊張気味です。



早速2年生が歓迎のダンスの披露。8月の特別月間がありましたので、2年生の2クラスとも練習できる時間がありました。クラス活動には工夫が生まれます。



衣装を着けての披露は、練習以上のできだったかもしれません。「本番に強い」頼もしい若者たちですが、8月のナムディンでの強い日差しの中、木陰で自主練習している姿も見受けられました。新2年生の挨拶の中で「この学校は『自分で、自分たちで』が大切です」と話していた通り、「ロイズム」がコロナ禍の1年間でもジワリと浸透していていると感じました。



ソーラン節

「ナムディン学院」の伝統となったそうらん節。農業高校にも学院の先輩たちが教えたようです。このソーラン節はその時々チームが自分たちの「ソーラン節」を表現します。

ここでも、「自分で、自分たちで」が生かされています。学院の姉妹校のような「ナムディン農業高校」です。「教える」から「学ぶ」の転換の一場面ようです。会場が一体となった「そうらん そうらん」「どっこいしょ どっこいしょ」の掛け声がこだましました。



HAPPY

HAPPY も学院の18番のダンス。これも農業高校に受け継がれそうです。にこやかに浴衣姿でのダンス。浴衣への着替えも、帯の結び方も協力し合って、手際も良くなりました。もちろん会場全員の手拍子でダンスを盛り上げました。「みんなで創る」迎える会です。



VIET NAM QUE HUONG TOI

<祝辞>



LE MINH HOAN ベトナム農業大臣 様

ハノイを早朝に出て、入学式に参加してくれました。ベトナムの初の農業高校に対する期待度の高さが伺えます。

「ロイ先生からは 10 分程度のスピーチと聞いていますが、新入生に 10 分、教職員に 10 分、来賓の方々に 10 分と、30 分に及ぶ講演 (?) でした。ユーモアにあふれる農業大臣です。





在ベトナム日本国大使館
一等書記官 石井 悠久様

「新入生の皆さん、ご入学
おめでとうございます。

生徒さんたちが作る入学
式、素晴らしかったです。

この1年間しっかり勉強
した成果を来年またみられ
ることを楽しみにしていま
す。」



厚生労働省よりこの8月
に大使館に赴任したばかり
にも関わらず、駆け付
けてくださいました。



ナムディン省農業局長



フン先生の通訳で神田先生の祝辞



未来へ



↑「会」の終わりは『未来へ』の大合唱
 ←迎える会終了後、昼食会へ。その前に記念写真。
 ロイ先生は撮影のコーディネイトです。
 写真撮影：VU KHANH THANH LOAN(日本語教師)
 文責：篠田